



市川三郷町

財政非常事態宣言

～ 持続可能な市川三郷町を目指すために ～

住民説明会

令和5年10月17日～令和5年10月20日

【お問い合わせ窓口】

市川三郷町役場 総務課 広聴広報係

電話 055-272-1102

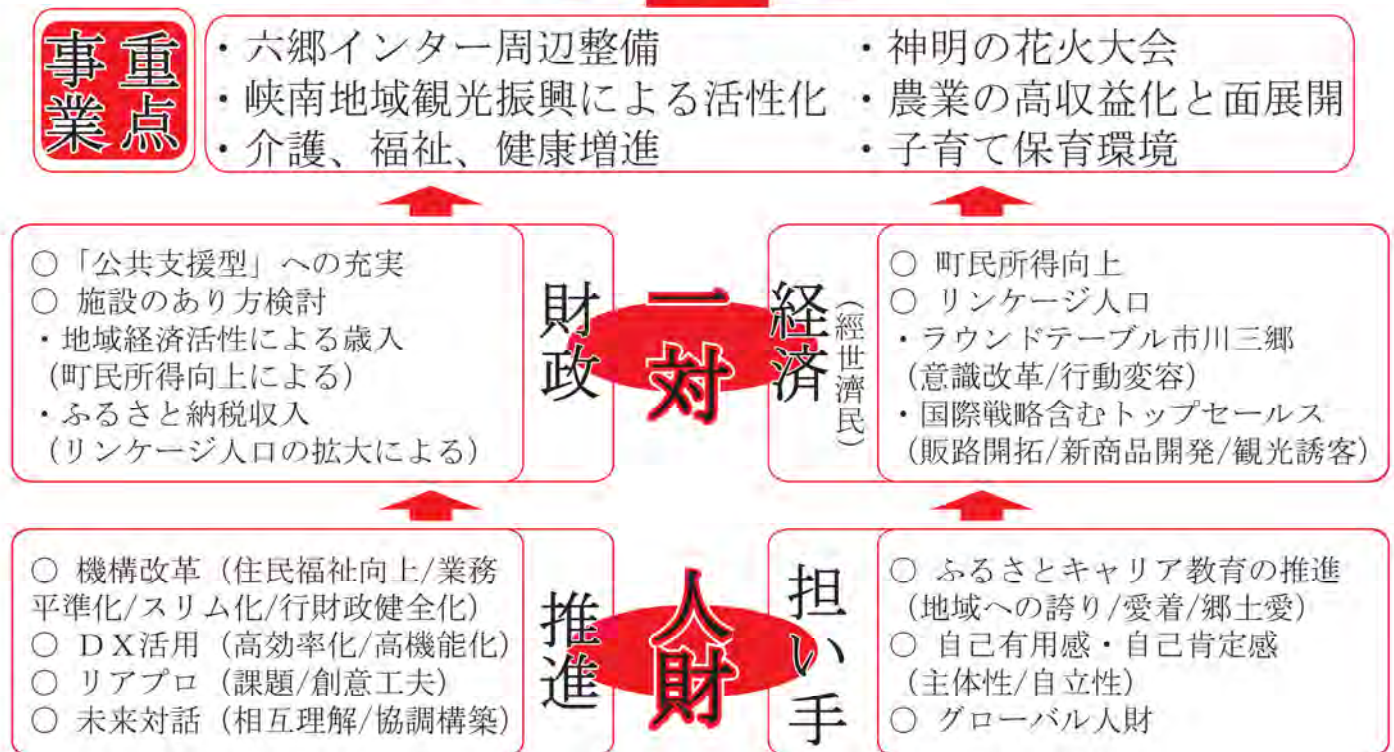
メール ims1790@town.ichikawamisato.yamanashi.jp

町長就任後これまでの取り組み

日付	事項	行政改革	財政改革	地域経営	その他
R3.10.31	町長就任	外部人材登用	事業実施計画ヒアリング	日体大、県人会との連携強化	第三者委員会設置
		業務量調査に着手		自走型「神明の花火大会」	甲府地検・地裁の情報収取
R4年度	当初予算	業務量調査詳細分析	給付支援型 ⇒ 公共支援型	ラウンドテーブル市川三郷 オマーン大使館 青洲高校	提言を受け役場内会議 生活支援体制整備事業/ 介護職員初任者研修
R5年度	当初予算	機構改革の実施 (行革推進係の新設 等)	特別会計の自走化に着手 (国保税適正化 等)	新しい地域経営GDW	提言を取り入れた改革 民事訴訟へ調査
		行財政改革に着手 (推進本部、幹事会、検討部会、推進委員会設置)		山守人との協定締結	民事訴訟提起
		財政非常事態宣言		六郷インター周辺整備に着手	社会福祉協議会経営強化
				神明の花火大会地域還元	人口減少危機突破共同宣言

新しい地域経営

GDW (町内総充実) 向上



2

財政非常事態宣言の背景

① 歳入面における自主財源の減少

- 高齢化、人口減少に伴う町税収入の減少
- 合併による地方交付税の段階的縮減

② 歳出の硬直化

- 公共施設の集約不足
- 従前どおりの行政経営による事務事業の見直し不足

3

本町の財政状況

① 恒常的な赤字体質の顕在化

- 実質的な収支での**5年連続の赤字決算**(H29~R3)

② 硬直化した財政構造

- R3年度決算における**経常収支比率98.1%**

(全国ワースト**11位**)

- R4年度決算では、**さらに0.1ポイント上昇**

➡ 抜本的・集中的な改革の達成により、時代の変化と多様化する住民ニーズに的確に対応

4

恒常的な赤字体質の顕在化

● 普通会計決算額の推移

(単位:百万円)

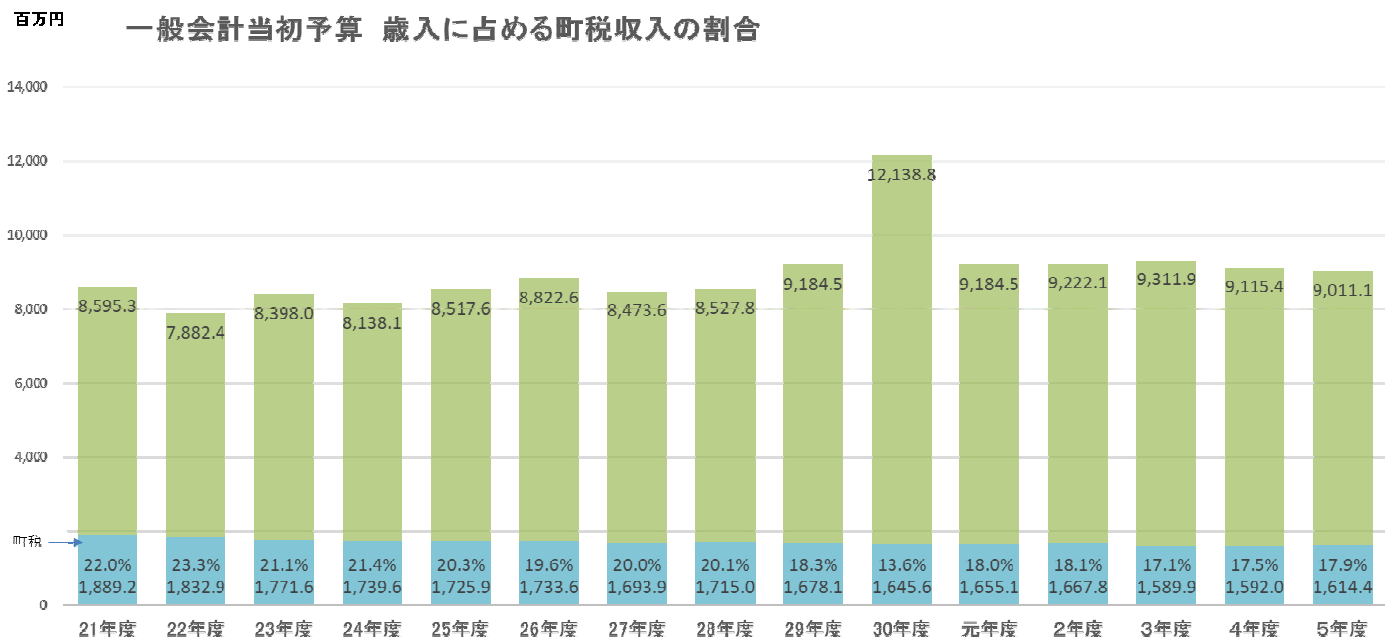
	歳入総額 a	歳出総額 b	形式収支 a-b	実質収支	実質単年度 収支	実質的な収支 (※)
H28	10,501	9,761	740	705	203	203
H29	10,148	9,629	591	463	▲84	▲183
H30	11,452	10,900	552	419	▲563	▲692
R1	11,344	11,004	340	252	▲167	▲300
R2	11,218	10,932	286	257	▲14	▲141
R3	9,844	9,541	303	210	78	▲45
R4	9,561	9,164	397	371	205	93

※ 実質単年度収支に地域振興基金取崩額の影響を加味した本町独自の表現

5

恒常的な赤字体質の顕在化

● 町税収入の推移



一般会計当初予算規模は、通常時で85億円→90億円程度に微増傾向
一方で、町税収入は19億円→16億円程度へと着実に減少 ※ シェアも10%台へ

6

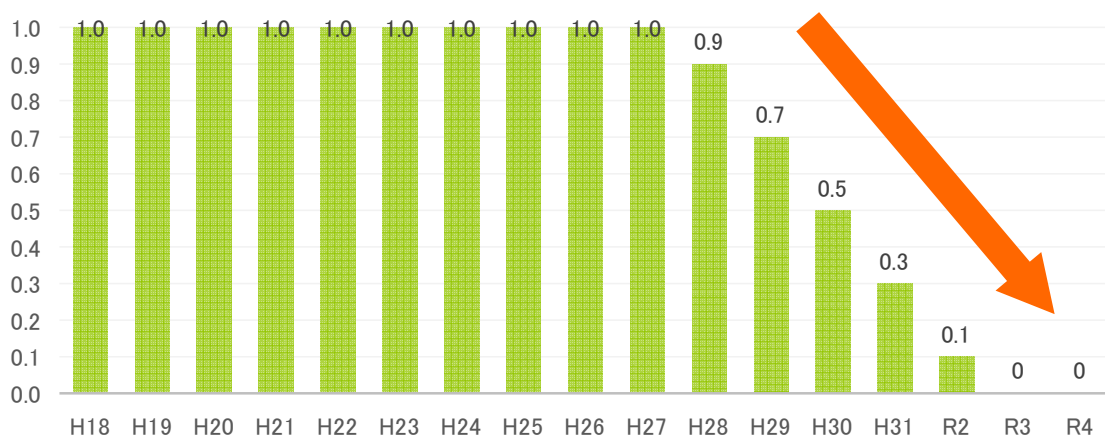
恒常的な赤字体質の顕在化

● 合併による財政支援措置の枯渇

① 地方交付税算定における「合併算定替」措置の終了

- ✓ 合併算定替措置期間の終了により、R2年度時点で特例措置期間中と比較すると、理論上、約4.5億円もの需要額が縮減。
- ✓ R2年度までに合併後の適正規模相当に歳出を縮減すべきであったことが示唆。

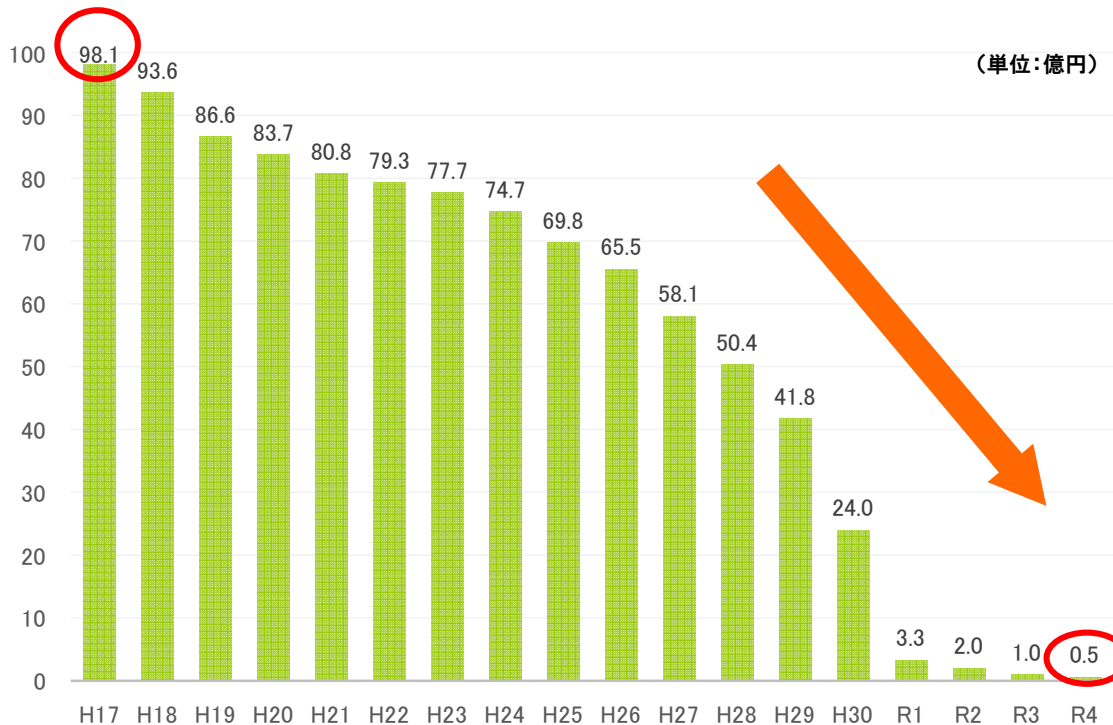
【合併算定替措置状況のイメージ】



7

恒常的な赤字体質の顕在化

② 合併特例債発行可能残額の減少



8

硬直化した財政構造

● 主な財政指標の状況

※ R3決算ベース

	実質収支比率	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率
本町の比率	3.5	98.1	11.1	124.2
県内平均 27団体中	11.2	85.0	7.1	46.2
県内順位 (悪い方から)	1位	1位	5位	1位
全国平均 1,718団体中	6.5	88.9	5.5	15.4
全国順位 (悪い方から)	211位	11位	242位	25位

R4決算ベース

本町の比率	6.2	98.2	12.0	117.5
-------	-----	------	------	-------

9

改革なく推移した場合の財政見通し

《普通会計決算額の見通し》

(単位:百万円)

	歳入総額 a	歳出総額 b	形式収支 a-b	財政調整基金 残高
R3	9,844	9,541	303	1,937
R4	9,698	9,342	356	1,937
R7	9,494	9,357	137	1,438
R8	9,613	9,506	107	1,188
R11	9,149	9,135	14	88
R12	8,754	9,084	▲330	0
R13	8,277	8,987	▲710	0

10

なぜ今、行財政改革が必要なのか

- 町が使えるお金は限られており、財政状況が示すように、
このままの行財政運営を漫然と継続した場合、
7年後には財政破綻の危機に陥ります。
- 財政破綻に陥る1歩手前の今こそが、
行財政改革を行う**最後のチャンス**です。
- この行財政改革に**対象外や聖域は一切ありません**。
- 今までの施策は本当に必要なものか、
全ての施策の総点検を行います。

11

突破に向けた抜本的・集中的改革

① 行財政改革推進計画の策定

- 外部委員の御意見を踏まえた改革の羅針盤
- R5～R7年度の**3年間で抜本的・集中的改革**を断行

② 具体的な取り組み

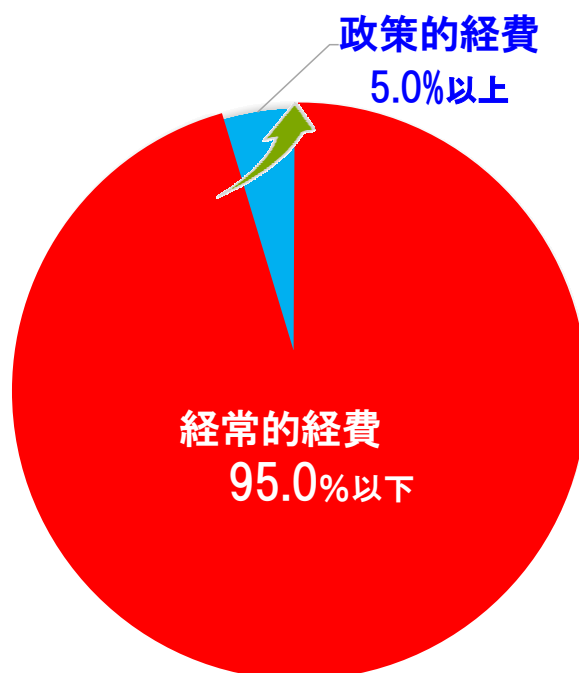
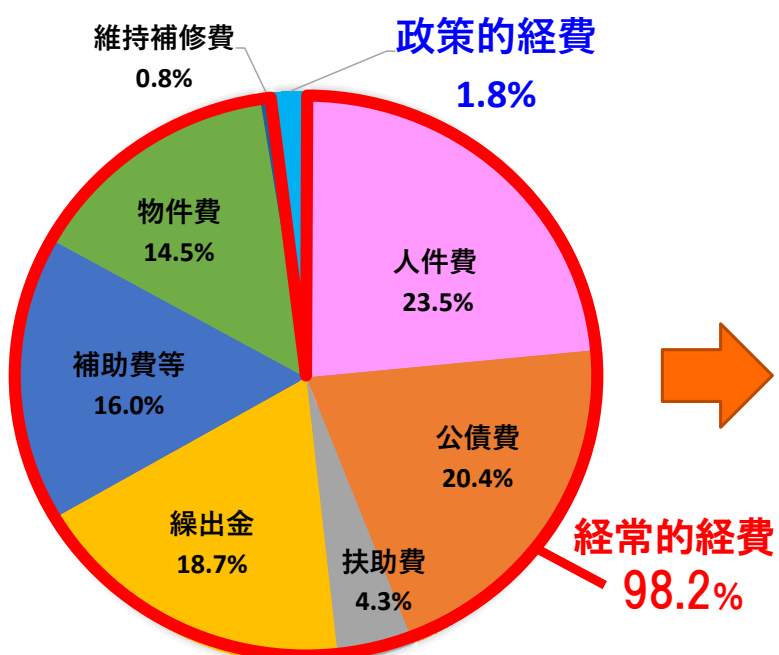
- 行政のスリム化
- 事務事業の総点検
- 全ての公共施設を対象としたあり方検討の実施

12

改革による経常収支比率の改善

令和4年度決算ベース

行財政改革最終年度(R7年度末)



13

※ R8年度以降も継続的に経常的経費の縮減に努めていく

公共施設のあり方検討状況

近隣の合併市町における施設数の推移

No.	施設名	市川三郷町		自治体A		自治体B		自治体C		自治体D		自治体E	
		H17.10	R5.3	合併時	R5.3	合併時	R5.3	合併時	R5.3	合併時	R5.3	合併時	R5.3
1	公民館	7	7	10	10	10	10	22	22	4	4	16	16
2	図書館	3	3	1	1	7	6	3	3	3	1	1	1
3	小学校	6	6	25	25	15	15	7	7	8	3	5	3
4	中学校	4	4	11	11	7	7	3	3	4	1	2	2
5	給食センター	3	3	0	0	2	2	0	1	2	2	1	1
	自校等	0	0	25	25	1	0	7	0	1	0	4	0
6	保育所	6	5	8	7	16	14	6	6	5	4	7	3
7	児童館	4	4	6	6	4	6	11	8	1	1	2	2
8	診療所	1	1	2	2	0	0	1	0	5	5	0	0
9	庁舎	3	3	9	9	11	8	3	3	3	3	7	3
10	公営住宅	8	8	28	23	37	31	10	10	18	15	18	18
	合計	45	44	125	119	110	99	73	63	54	39	63	49
	増減数	▲ 1		▲ 6		▲ 11		▲ 10		▲ 15		▲ 14	

14

第3次総合計画による未来投資の促進

① 行財政改革推進計画(R5年度～R7年度) ※ 年内策定予定

- 行政のスリム化、事務事業の総点検、全ての公共施設を対象としたあり方検討による**経常的経費の縮減**



縮減経費をもとに、将来への投資を促進

② 第3次総合計画(R7年度～R11年度)

- 町民の皆様の御意見を取り入れながら、本年度からの2ヶ年で、六郷インター周辺整備など、**本町の明るい未来像**を描く総合計画を策定し、**積極的に施策展開**

15